

ゼロ災&健康トライアル 挑戦してみませんか？



■従業員ファースト を実践するトライアルです

ゼロ災&健康トライアルは「労働災害ゼロ」と「健康づくり」の取組を、毎年10/24から1/31までの100日間、実践するチャレンジです。

人手不足や労働者の高齢化に伴い、卸・小売業、医療福祉関連事業所の労働災害は増加傾向にあります。従業員の働きやすい環境整備を目指し、事業場全体で参加してみませんか？

詳しくは「**ゼロ災 瀬峰労働基準監督署**」で検索してください。



■腰痛や転倒も労働災害です

卸・小売業や医療福祉関連事業所では、無理な姿勢での業務で腰痛になったり、お客様や利用者の対応で精神不調になることも労働災害に含まれます。

特に、骨折やくも膜下出血にもつながりかねない転倒災害が増えており、「労働災害ゼロ」に向けた対策が必要です。



■危険箇所の確認も労働災害ゼロの取組です

転倒災害が多いポイントは次のとおりです。施設の皆さんで当てはまるポイントを探し、危険箇所の「見える化」をする、整理整頓して作業同線を確保するなどの対策を、「ゼロ災&健康トライアル」期間中に実施しませんか？

《転倒災害が多いポイント例》

◆駐車場や屋外通路

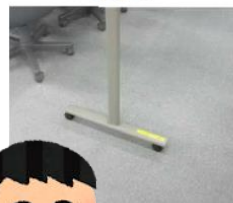
- 車止めでつまづいたことがある
- 凍結した道路で滑りそうになったことがある
- 雨で濡れた道路で滑りそうになったことがある

◆施設内

- 段差でつまづいたことがある
- 設備や家具でつまづいたことがある
- 車椅子、杖、カート等でつまづいたことがある
- 配線に引っかかったことがある
- 浴室や炊事場等の水場で滑りそうになったことがある
- 水滴、洗剤、油等で滑りそうになったことがある

《対策例》

Before



After

